

平成27年度地方スポーツ振興費補助金

「スポーツによる地域活性化推進事業
(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」

取組事例

スポーツ庁健康スポーツ課
平成28年11月



スポーツ庁

目次

(平成 27 年度補助事業者一覧)

山形県	酒田市	1
	上山市	1
福島県	伊達市	3
栃木県	大田原市	3
千葉県	白子町	4
	浦安市	4
東京都	日野市	5
神奈川県	横浜市	5
新潟県	見附市	6
	新潟市	6
富山県	滑川市	8
石川県	内灘町	9
静岡県	袋井市	10
	小山町	10
愛知県	豊田市	11
大阪府	阪南市	15
	高石市	16
兵庫県	川西市	17
岡山県	岡山市	17
鹿児島県	指宿市	18

山形県酒田市

地域活性化推進事業(ノルディックウォーキング)

- 手軽に実施できるノルディックウォーキングをきっかけに、市民のスポーツ実施率の向上・健康づくり・生活習慣病の予防等、健康寿命への意識の高揚とともに、地域ににぎわいと健康社会の構築を目的として実施。
- 各中学校区ごとに年3回以上の教室を実施。専門指導員を派遣し、各地区のコミュニティ振興会や体育振興会が中心となって実施、スポーツ推進委員が補助指導。10月に大会も開催した。
- 教室及び大会参加者には、参加賞として万歩計を配布。ノルディックウォーキングの講義を受けた大会参加者へは、温泉施設利用券を配布した。これらは市内企業より協賛を受け実施した。

(平成27年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



山形県上山市

全3事業

①温泉旅館で実施する温泉入浴付きのスポーツ教室

- 市の特色を生かし、スポーツ教室にインセンティブとして温泉入浴をセットにして参加意欲を上げ、特に女性と高齢者のスポーツ実施率を上げることを目的として実施。
- 温泉旅館を会場にして、大広間で吹き矢、ピラティス、ヨガ、フラダンス等の軽スポーツの教室を実施。事前の健康チェックを行ってのクアオルトウォーキングも実施した。子育て世代の女性も参加しやすくするため、子供の一時預かりができる上山市総合こどもセンターと連携した。
- 教室の会場として旅館を利用することで、旅館の日中の稼働率を上げるとともに、温泉入浴をプログラムに組み込むことで、事業終了後の温泉利用拡大を図った。

(平成27年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



リフレッシュ・ヨガ



貯筋運動

②出前スポーツ教室

- 外出したいが交通手段がないために運動・スポーツができないという高齢者を対象に、最寄りの地区公民館においてスポーツ教室を開催し、高齢者のスポーツ実施率を上げるとともに健康増進を図ることを目的として実施。
- 高齢者が手軽に取り組みめる種目（ピラティス、ヨガ、ウォーキング等）の教室を開催。初回実施時には保健師を派遣し、実施前の健康講話、健康チェックなどの指導を実施。
- 参加者には総合型クラブのお試し券を配布し、クラブの会員数増と自発的な施設利用の働きかけを行った。
- 今後も人気種目の継続や地区公民館を会場にして参加しやすくするなど、一人でも多くの方に運動・スポーツをしてもらい健康増進につなげていく。

（平成27年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業（スポーツを通じた健康長寿社会等の創生）」より）



ロコモ体操



ウォーキング

③サイクリング入門教室

- スポーツをする時間がなかなか取れない子育て世代を主なターゲットとし、自転車愛好家を増やし、健康増進を図ると同時に、毎年11月に開催している「かみのやまツール・ド・ラ・フランス大会」の市民参加率の向上を目的とする。
- 大会で使用する「ファミリーコース（20km）」を使用し、自転車の点検や安全な乗り方、ガイドによるコース案内を実施。大会ボランティアの参加についても啓発を行った。
- 休憩場所として地元の逸品が食べられる場所を用意し、食の魅力を加えた。

（平成27年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業（スポーツを通じた健康長寿社会等の創生）」より）



講習



15km コース

福島県伊達市

スポーツウエルネスサービスによる地域活性化モデルの構築

- H26 より実施する SWC 総合特区 6 市による「6 市連携健康ポイントプロジェクト」として、様々なインセンティブ付の地域スポーツウエルネスサービスを提供し、スポーツを通じた健康増進、地域活性化を図る効果の高いモデルを実証し、有効なガイドライン案のとりまとめを行う。
- 無関心層が参加しやすいよう、日常生活における歩くことを中心とした身体活動量の増加を図る取組などをポイント付与の対象とした。
- ICT を活用し、参加者の歩数や体組成データ等が把握できるシステムを構築し、実施状況や結果の見える化を図った。
- ポイント交換のコースのひとつに地域商品券があり、参加者の 85.5% が選択。
- 今後は事業の拡大・持続的な運用のため、インセンティブの妥当性や参加者の負担についても検討していく。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



各アップロード会場の様子

栃木県大田原市

スポーツウエルネスサービスによる地域活性化モデルの構築

- H26 より実施する SWC 総合特区 6 市による「6 市連携健康ポイントプロジェクト」として、様々なインセンティブ付の地域スポーツウエルネスサービスを提供し、スポーツを通じた健康増進、地域活性化を図る効果の高いモデルを実証し、有効なガイドライン案のとりまとめを行う。
- 無関心層が参加しやすいよう、日常生活における歩くことを中心とした身体活動量の増加を図る取組も対象とした。
- ICT を活用し、参加者の歩数や体組成データ等が把握できるシステムを構築し、実施状況や結果の見える化を図った。
- 今後は現在判明している課題（経費、人員、会場規模等）の解決に向けて、独自事業として市単独で実施できる制度の確立を目指す。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



千葉県白子町

健康ポイント事業

- 運動無関心層に働きかけることで、参加者数が横ばいになっていた町の健康教室の参加者の増加、運動無関心層の掘り起こしをねらいとして実施した。
- 健康ポイントをインセンティブとして用いて無関心層への訴求力を高めた。運動の履歴やポイントは Web 上で管理し、履歴も確認でき、個別の運動や健康に関する助言及び情報提供も行った。
- ポイントは Quo カードに交換し、地域経済の活性化を図った。
- 今後も新規参加者の募集を継続し、対象人口（40 歳以上）の 10%以上を目標に事業を拡大する。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



のぼり旗での周知風景



参加者説明会の会場

千葉県浦安市

スポーツウェルネスサービス(SWS)による地域活性化モデルの構築

- インセンティブ付健康・運動プログラムサービスを提供し、参加者のライフスタイル調査及び産業連関表を用いて波及効果を測定し、スポーツを通じた健康増進、地域活性化を図る効果の高いモデルをSWC総合特区6市連携のもと実証し、SWSの普及や活性化に有効なガイドライン案のとりまとめを行った。
- 無関心層のスポーツ参加のため、日々の歩数やスポーツ活動への参加等の努力評価と、体組成及び健診結果の成果を評価してポイントを付与した。
- ICT を活用し、参加者の歩数や体組成データ等が把握できるシステムを構築し、実施状況や結果の見える化を図った。
- 今後も運動習慣のない無関心層を中心に地域SWSを提供し、スポーツ振興及び健康増進への取組を推進していく。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



参加説明会の様子



健康セミナーの様子

東京都日野市

ふらっと健康運動体験教室

- 日頃の運動週間のない子育て世代（主婦層）をターゲットとし、運動をするきっかけづくりや仲間作りの一助となることを目的として実施。また、地域で使用できるひの新選組ポイント（ご当地 WAON）を付与することで、地域商業の活性化もねらいとした。
- イオンモールと連携し、買い物に訪れる子育て世代の女性に、普段着で取り組める健康運動や、子供連れでも参加できる親子体操など、健康と運動に対する理解促進と取組のきっかけを提供した。
- 当日ふらっと立ち寄れるよう、事前申込制にはせず、外出しやすい午前中に実施した。
- 今後は市の独自予算で継続していく。

（平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業（スポーツを通じた健康長寿社会等の創生）」より）



神奈川県横浜市

よこはまウォーキングポイント

- 中高年など自身の健康づくりの必要性を感じているが、なかなか行動に移せない層に対して、誰でも取り組むことのできるウォーキングを通してきっかけを提供。同時に「地域のつながりづくり」を促進し、参加者が記録のため商店街を訪れることで、地域活性化につなげることをねらいとした。
- 個人以外に事業所（企業）単位での参加も受付。
- 参加者に歩数計を配布し、市内協力店に設置したリーダーでデータを送信、Web 上で確認できるようにした。3 か月に 1 回、また 1 年に 1 回、200 ポイント以上獲得者を対象に自動抽選を行い、3,000 円の商品券等をプレゼントした。
- H28 年度は Web 申込の開始など、参加機会を増やすことで、更に多くの運動・スポーツ無関心層への働きかけにつなげ、運動・スポーツ習慣定着を目指す。

（平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業（スポーツを通じた健康長寿社会等の創生）」より）



新潟県見附市

スポーツウエルネスサービスによる地域活性化モデルの構築

- H26 より実施する SWC 総合特区 6 市による「6 市連携健康幸ポイントプロジェクト」として、様々なインセンティブ付の地域スポーツウエルネスサービスを提供し、スポーツを通じた健康増進、地域活性化を図る効果の高いモデルを実証し、有効なガイドライン案のとりまとめを行う。
- 無関心層が参加しやすいよう、日常生活における歩くことを中心とした身体活動量の増加を図る取組をはじめ、健康運動教室等への参加に対しポイントを付与し、地域商品券等と交換可能とした。
- ICT を活用し、参加者の歩数や体組成データ等が把握できるシステムを構築し、実施状況や結果の見える化を図った。
- 今後のインセンティブの在り方については、同じ方に継続して付与するのではなく、いまだ行動変容が必要な運動未実施層等に対し、インセンティブ制度を通じて行動変容につながるような制度設計への転換が課題と感じている。



ウォーキング講座



健康運動教室

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

新潟県新潟市

全 3 事業

①にいがたし健幸マイレージ

- 市の健康増進事業のほか体育施設や民間の健康づくり活動や教室への参加に対しポイントを付与し、抽選で商品をプレゼントするといったインセンティブ制度を用い、運動無関心層を取り込み、活動の定着を図った。
- 参加者にはスタンプかシールを台紙に付与し、5 枚 1 口で応募。市体育施設や民間スポーツクラブの利用券、健康関連グッズなどを贈呈。
- 「にいがた未来ポイント」(環境・健康に対する行動にポイントを付与)も併せてためることができたため、環境活動への参加者も誘導することができた。



ウォーキング



マイレージ用シール
(花野古町と笹団五郎)

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

②にいがた未来ポイント

- インセンティブを用いて、市の健康増進事業や体育施設の利用者増と、健康的な生活習慣の定着を図った。
- 市の健康増進事業参加者や体育施設の個人利用者に対して、バス IC カードなどで管理するポイントを付与。地域商品券やバス乗車のポイントに交換可能とした。市の商店連合会と連携し、ポイントの交換等を市内の加盟店で行えるようにし、商店街への誘客もねらいとした。
- 「にいがたし健康マイレージ」と併せてポイントを付与することで、無関心層の取り込みを図った。
- 環境保全活動などでもポイントをためることができ、環境活動の参加者も健康づくりに誘導することができた。
- H28 年度中には個人の歩数によってもポイントを付与するなど、個人の取組を広く対象とし、健康意識の向上を図っていく予定。



広報用チラシ

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

③SWC フォーラム

- 「歩くこと」に着目し、健幸づくりとまちづくりが連携し、誰もが健やかで幸せに暮らせる「健幸都市づくり(Smart Wellness City)」に取り組み、多くの市民に健康づくりに関心を持っていただき、健康づくりに対する機運の醸成、動機付け及び支援や健康的な生活習慣の定着を図った。
- 市民の健康づくりのきっかけとなるよう、またにいがた未来ポイントと健幸マイレージの周知として、講演会を開催。
- 健康づくりに無関心な人にも知名度のある講師を招へいし、一般人にもなじみのある内容で実施した。
- 今後も年 1 回は開催し、ポイント事業の周知に加えて他の事業や体育施設の利用につなげていく。



(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

①介護予防「うんどう教室」の開催

- 健康長寿の実現をねらいとして、自分の体力に応じた運動習慣を身に付けるきっかけづくりの応援として実施した。
- 市内の公園に設置されている健康運動遊具を活用し、高齢者体力づくり支援士等の指導の下、各人の体力に合わせて楽しみながら簡単にできる、運動を習慣化するための教室を開催。併せて地域指導員養成講座も開催することで、将来的な自主運営に向けての基盤づくりも実施。
- 交通弱者の多い高齢者のため、コミュニティバスを利用できる時間帯に開催することで、参加者増につなげた。
- 今後、地域指導員による自主活動として運営され、「うんどう」を習慣化する高齢者が増加し、健康寿命延伸都市の実現につなげていく。



(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

②朝のつどい

- 比較的朝が早いとされる高齢者をターゲットに、高齢者の日常的な健康づくりと、定期的な運動習慣の定着を図った。
- 6月から11月までの毎月第1・第3土曜の早朝に、誰もが気軽に始めることができるラジオ体操や太極拳等の軽運動教室を行った。
- 市のイメージアップキャラクター「キラリン」をモチーフにした健康バッジを配布することで健康愛好者の広がりを企図したほか、本事業に毎回参加した方には、市内健康入浴施設の無料券を贈呈し、施設との相乗効果を図った。
- H28からは老人クラブや総合型クラブと協力して実施し、自主運営につながることを期待している。



(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

①シェイプアップモニター事業

- 運動の継続と食生活の改善が、それぞれ健康に与える効果を測定する。健康診断結果をもとに保健師と栄養士からの指導、運動効果評価によって個人の状態を配慮し、個別に適切な運動メニューを提供した。
- 運動メニューは総合型クラブで実施中のメニューの中から、適したものを運動指導員とともに検討、提供した。
- 参加者に対して、今後も定期的な体力測定会に参加するよう呼びかけた。



運動メニュー(ピラティス)実施の様子



体力測定会の様子

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

②地区公民館を拠点とする高齢者運動サークル設立モデル事業

- 地区公民館で実施可能な高齢者の軽運動サークルを設立実施。活動拠点を公民館とすることにより、移動に係る負担を極力低減。また事業終了後も自主サークルとして運営が持続するよう、リーダーの発掘、育成指導等も実施した。
- ミニボール回しなどの球技や、タオル、いす、ヨガマットを使用した柔軟体操から、60代で体が動く人には、別メニューとして筋力維持のための腹筋、背筋、体幹を鍛える運動を反復して実施した。
- 軽運動メニューは高齢者が飽きないよう、頭と体の同時トレーニングなどを取り入れ、また年齢差による参加者の体力差にも配慮した。
- 総合型クラブに講師派遣やサークル運営のアドバイスを依頼し、今後の自主的運営についても支援に努めていく。



(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

静岡県袋井市

健康運動「日常ながらチャンス！」～健康ポイントによる運動の定着化～

- 健康ポイント制度を活用し、運動の実施効果を「見える化」することで、日常生活下で取り組むことのできる運動の普及、運動無関心層の取り込み、運動習慣の定着化を図った。
- ①ウォーキングの実施日数、運動・食事の自己目標の達成や、②運動教室への参加、運動能力の向上の2コースでポイントを付与。ICTを利用した記録を奨励し、自分の記録を確認できるようにした。ポイントは1P=2円換算で、公共施設の利用券や地域商品券と交換。
- 運動教室参加者を中心に、自主的な運動の継続に向けて自主活動団体の組織化を誘導しており、H28年度は新たに5団体（130名参加）の設立・運営を支援する。

(平成27年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



静岡県小山町

全5事業

①トレーニング室を活用した健康教室

- 平成27年3月にリニューアルした町総合体育館のトレーニング室にて、器具の使用方法から生活習慣病を予防できる運動教室を開催し、継続した運動習慣の定着化をねらいとして実施した。
- 座学は健康運動指導士を講師とし、器具の説明はトレーニング指導士、また栄養士が常駐して食事等の相談にも適時対応した。
- 「健康マイレージ」のポイント付与事業とし、たまったポイントはトレーニング室やパークゴルフ場の利用券として使用可能。
- H28年度に実施する15種のスポーツ教室のうち2回はトレーニング室に関する教室とし、継続して指導を受ける環境を整え、継続した運動習慣の推進に努めている。

(平成27年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



②初心者のためのパークゴルフ教室

- 町が管理・運営するパークゴルフ場にて、初心者を対象にパークゴルフ教室を開催し、町民の健康増進を図ることを目的とした。
- 「健康マイレージ」のポイント付与事業とし、無関心層の取り込みを図った。たまったポイントはトレーニング室やパークゴルフ場の利用券として使用可能。
- 各地区の老人会へ働きかけることにより、新たな利用者を獲得。
- 町のコミュニティバスの発着時間に合わせて開講したことにより、車両を運転しない高齢者にも参加しやすい環境となった。
- 今後もパークゴルフ場の利用に関する周知活動を継続し、町民の健康増進に努める。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



③運動習慣推進講演会

- 転倒骨折を予防し、要介護状態になることを防ぐことを目的に、足の指の大切さについて学習。講演とストレッチの実演を行った。
- 介護予防運動をサポートするボランティア「はつらつ元気サポーター」の参加を依頼し、運動支援体制を強化。
- 地域からの派遣依頼で実施する「出張けんこう講座」にて、講演内容の伝達を重点的に進めている。
- 当日参加できなかった町民に対し、講演内容をケーブルテレビで放映し、健康増進についての周知を行っている。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



④富士マラソンフェスタ 2015 における新種目の開催

- 富士スピードウェイのサーキットコースをマラソンコースとして活用し、4人1組で合計タイムを競う「団体戦」を実施。
- 観光PRや特産品の販売を行うブースを多数設け、マラソン選手のトークショーなどステージイベントも充実させることにより、地域活性化はもちろんのこと、運動無関心層の取り込みも図った。
- 大会記録を記録証として配布するとともに、商工会、観光協会と連携し地場産品や観光名所の紹介を行うことで、リピーターの増加に努めた。
- 参加者に対し、宿泊案内や観光施設等の割引券を事前送付し、地域活性化を図った。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

**⑤野球教室**

- 町出身の現役プロ野球選手を講師に招き、野球教室を実施することにより、町民のスポーツへの関心と健康増進を図り、またスポーツに参加するきっかけづくりを目的として実施した。
- 著名なスポーツ選手を講師に招くことにより、町外からの来訪者が増加し、宿泊等による町への経済効果があった。



(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

①60歳からの体力再生教室

- 大学・企業と連携し、指導者の派遣や、連携先の保有する施設を有効活用し、スポーツ教室を開催。専門性の高い指導により、市民が正しくスポーツや健康についての理論や方法を学ぶとともに、興味・関心を持ち、健康で豊かな生活への意欲向上をねらいとした。
- 中高齢者を対象として、スポーツ・健康に関する講義と軽運動を組み合わせた教室を10種開催。
- 防災・防犯の内容を取り入れることにより、自力で避難できる体力が必要であることを啓発。また関心層が無関心層を誘って参加することを条件として募集を行った。
- 仲間と参加いただくことで、運動を継続して実施しやすい状況につなげることができた。

(平成27年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



②健康・スポーツに関する出前講座

- 大学・企業と連携し、指導者の派遣や、連携先の保有する施設を有効活用し、スポーツ教室を開催。専門性の高い指導により、市民が正しくスポーツや健康についての理論や方法を学ぶとともに、興味・関心を持ち、健康で豊かな生活への意欲向上をねらいとした。
- 自治区や老人クラブ等の要請により、指導者が各地区に出向き、中高齢者向けのスポーツ・健康教室を開催。防災教室を併せて開催するなどのプログラムも用意した。
- 他、前項と同じ

(平成27年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



③トレーニングルーム利用教室

- 大学・企業と連携し、指導者の派遣や、連携先の保有する施設を有効活用し、スポーツ教室を開催。専門性の高い指導により、市民が正しくスポーツや健康についての理論や方法を学ぶとともに、興味・関心を持ち、健康で豊かな生活への意欲向上をねらいとした。
- トレーニング機器を活用した、個々に合ったトレーニング方法を学ぶ教室として開催。内容は基本的な使用方法、中～高齢者に適したトレーニング方法などで、初心者向けの気軽に参加できる教室として周知活動を行った。
- 普段から利用している方から無関心層を誘ってもらえるよう、対象年齢を18歳以上として募集を行った。
- 事業終了後も継続して実施できるよう総合型クラブの活動を随時紹介した。

(平成27年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



④中京大学ダンス部による 気軽にダンスエクササイズ

- 大学のダンス部と連携し、指導者の派遣や、連携先の保有する施設を有効活用し、スポーツ教室を開催。専門性の高い指導により、市民が正しくスポーツや健康についての理論や方法を学ぶとともに、興味・関心を持ち、健康で豊かな生活への意欲向上をねらいとした。
- 小学生と保護者を対象とし、自宅で気軽にできるストレッチや筋力トレーニング、簡単なダンスを中心とした軽運動教室を実施。
- 学校の協力により、小学校に通う子の保護者に届くようにし、子育てを理由に参加できない方々が参加しやすいよう、平日の午前中に開催した。

(平成27年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



⑤ウイメンズ限定マラソン教室

- 企業マラソンチームと連携し、指導者の派遣や、連携先の保有する施設を有効活用し、スポーツ教室を開催。専門性の高い指導により、市民が正しくスポーツや健康についての理論や方法を学ぶとともに、興味・関心を持ち、健康で豊かな生活への意欲向上をねらいとした。
- 対象者を初心者やこれからマラソンを始めようとする女性とし、経験者は未経験者とペアで参加することを応募の条件とした。
- 参加者のほとんどが豊田マラソン大会に参加したほか、教室で知り合った仲間チームを編成し、市民駅伝大会に参加した方もいた。今後も継続して実施することにより、無関心層の参加も増えてくると感じている。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

**⑥ウォーキング教室・ウォーキングイベント**

- 総合型クラブと連携し、各地区でウォーキング教室やイベントを開催。様々な条件を各地域の実情に合ったものとなるようにし、より多くの人に関心を持ってもらい、スポーツ・運動実施率の向上を目指した。
- 積極的に家族での参加を呼びかけ、また関心層が無関心層を誘って参加することを条件とするなど、無関心層が参加しやすい状況を作った。
- 歩くことだけを目的とせず、目的地での食事やお土産を買うなどの企画を行い、好評を得た。



(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)

大阪府阪南市

健幸ポイントプロジェクト

- インセンティブ制度を用いて、健康づくり無関心層を中心に、運動を行うきっかけづくり、継続して健康づくりに取り組む動機づけとなることを目的とした。
- ウォーキングや市の指定する運動・健康教室に参加することで、健康づくりができるとともにポイントを獲得でき、ポイントは地域商品券と交換可能とした。
- ICT を活用した「健康ポイント共通プラットフォーム」によって参加者の取組状況等が本人・事務局双方ともリアルタイムに確認でき、活動が滞っている方には個別に連絡を取るなど、継続支援を行った。
- 今後は民間事業者等との連携をより深め、協賛企業や参加者自身の原資負担も検討していく。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



大阪府高石市

スポーツウエルネスサービスによる地域活性化モデルの構築

- インセンティブ付スポーツウエルネスサービスを提供し、参加者のライフスタイル調査及び市の産業連関表を用いて測定することにより、スポーツを通じた健康増進、地域活性化を図る効果の高いモデルを実証し、SWS の普及や活性化に有効なガイドライン案のとりまとめを行った。
- 無関心層が参加しやすいよう、日常生活における歩くことを中心とした身体活動量の増加を図る取組もポイント付与の対象とした。
- インセンティブとして地域商品券、Ponta ポイント、寄付を用意したが、参加者のほとんどが地域商品券を選択し、参加者の 4 割程度が地元商店での消費が増えたと回答していることから、地域活性化に貢献したことがうかがえる。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



たかいしマルシェ



兵庫県川西市

かわにし健幸マイレージ2015

- インセンティブ制度を用いて、運動・スポーツ無関心層に健康づくりの意欲の向上と実践を促し、市民の健康行動の変容を促すことで、医療費・介護保険費の抑制につなげていくことを目的として実施。
- 自治体関係部署、民間事業者と連携し、地域の活性化と持続性のある事業を目指した。また、地域活動団体と連携・協働することで、地域の住民同士のふれあう機会が自然と増える「健康づくりと地域の活性化の循環モデル」を目指した。
- 有料の民間プログラムや公共交通機関の事業（沿線ハイキングなど）もポイント付与の対象とし、ポイントの交換は商品券や市の特産品など地域経済の活性化を図った。

（平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業（スポーツを通じた健康長寿社会等の創生）」より）



岡山県岡山市

スポーツウエルネスサービスによる地域活性化モデルの構築

- インセンティブ付スポーツウエルネスサービスを提供し、参加者のライフスタイル調査及び岡山市の産業連関表を用いて測定することにより、スポーツを通じた健康増進、地域活性化を図る効果の高いモデルを実証し、SWSの普及や活性化に有効なガイドライン案のとりまとめを行った。
- 無関心層が参加しやすいよう、日常生活における歩くことを中心とした身体活動量の増加を図る取組もポイント付与の対象とした。
- 市の事業だけでなく、プールの指定管理者や民間スポーツクラブなどの事業も対象とし、施設利用者の増加を図った。
- ポイントは地域商品券と交換可能とすることで、地域経済の活性化を図った。

（平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業（スポーツを通じた健康長寿社会等の創生）」より）



鹿児島県指宿市

指宿市健幸ポイントプロジェクト

- 市民の自主的かつ積極的な運動を行うきっかけづくりとして、ICTを活用した健康ポイント事業を実施することにより、参加者のスポーツ・運動の継続率向上につなげ、参加者の活動量を把握し、行動変容を促すことで、健康増進と医療・介護保険費の抑制を目指す。
- 「健康ポイント共通プラットフォーム」を活用し、ポイント及び自身の実施量の管理を行いながら、既存の運動教室での展開はもちろん、個別対応プログラムの運動教室で活用し、日常生活で運動に取り組むといったライフスタイル型の事業運営を行った。
- 総合型クラブへの入会をポイントの付与対象にしたことで、クラブの新規顧客の獲得につながった。またポイントを地域商品券としたことで、地域経済への波及が成された。

(平成 27 年度地方スポーツ振興費補助金「スポーツによる地域活性化推進事業(スポーツを通じた健康長寿社会等の創生)」より)



歩数計データ取り込み



健幸運動教室